

## 第2期基本計画各論(素案)に対する総合計画審議会からの意見のまとめ

### 【施策名】 1 市民自治活動・学び

項目		意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)		・「増えている」とあるが、何を基準とするのか。ゴールが漠然としていると達成度等が測れず、評価が難しいのではないかと。
施策の主な方向性	(1)持続可能な身近なコミュニティづくり	・「BASE生駒」や「まちのえき」について、どのような取組なのかを説明する文章を記述されたい。
	(2)主体的な学びの場の創出	・図書館について、コンテンツが少しずつ紙からデジタルに移行していくと思うので、ダウンロードなど図書館へ行かなくても本を借りられるようになると利用者も増えると思う。 ・若年層は本を読まない割合が高く、文章力が落ちていると感じる。本を読むことはとても大切であり、知識の習得はもとより、良い文書を読むと文章力が上がることに繋がる。図書館に足を運ぶハードルを下げる取組も必要である。 ・生涯学習の観点から見ても、世代を問わずデジタル技術等を学べる機会をつくる取組が必要である。
	(3)文化振興による市の魅力向上	(意見無し)
市民や事業者ができることの主な取組のイメージ		(意見無し)
現状と課題		・「BASE生駒」や「まちのえき」について、自治会長への周知は行われているようだが、それ以外の市民への周知が広がっていない。やはり自治会内でも会長の業務負担の多寡もあることから、周知方法について工夫が必要ではないかと。 ・「BASE生駒」や「まちのえき」について、例えば、自治会に、会議の案件に入れて話題にさせていただくよう依頼してはどうか。
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関すること等)		・指標の目標値について、「上昇」という表現が良いのか、明確な数値とするか、検討されたい。 ・明確な数値を掲げてしまうと、掲げられた数値を上げることのみが仕事の目標になってしまうおそれがあるので、数値化する必要はないのではないかと。 ・施策1のタイトルについて、「市民自治」となると自己決定というイメージがあり、もう少し踏み込んだアクションを意味する「市民自治活動」というタイトルで問題ないと考えことから、原案どおりとする。

【施策名】 2 人権・多文化共生

項目		意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)		(意見無し)
施策の主な方向性	(1)人権課題に対する取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権」の範囲は非常に広く、「人権」という言葉だけでは伝わりにくい。一部の例示だけでいいのかという問題はあるが、市民がイメージしやすい表現にできないか。</li> <li>・ジェンダー問題などについては、幼少期の教育が重要であるため、教育現場と連携して取り組まれない。</li> </ul>
	(2)多文化共生の推進	(意見無し)
	(3)男女共同参画の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性相談の充実について、昨今の状況では女性だけではなく男性からの相談もある。性別に捉われないような表現をすべきではないか。</li> </ul>
市民や事業者ができることの主な取組のイメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・2項目めについて、「まちのえき」の実施主体を明確にするためにも、主語を書く必要があるのではないか。</li> </ul>
現状と課題		(意見無し)
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関すること等)		(意見無し)

【施策名】 3 子ども・子育て支援

項目	意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)	・「豊か」を追記し、「子どもたちの豊かで、健やかな成長のための環境が整っている」と変更する。
施策の主な方向性	(1)子どもたちの健やかな成長を支える (意見無し)
	(2)子どもを産み・育てることへの包括支援 (意見無し)
	(3)相談体制の充実 ・発達障がいなど様々な子どもがいることの周知や啓発を行い、保護者の孤立を防ぐために、地域の人が当事者意識を持って受け止める方法を知る機会をもうけ、社会の意識を変えていく必要がある。 ・相談窓口に行く人は、その時点で深く考えて相談先を選んでいる。気軽に相談できる場所があれば、早期の対応が可能になる。 ・地域では、子育て世代が地域の民生児童委員を知らなかったり、世代間の交流がないなどの状況がみられる。子育てについて、例えば、買い物のついでになど、生活の中で気軽に相談できる窓口があればよい。 ・相談の窓口はあっても、実際に相談することは、ハードルが高い印象がある。本当に困っている人が相談できるような環境づくりが必要である。
市民や事業者ができることの主な取組のイメージ	・事前の意見質問票に記載した「地域力を高めるための意識改革と基盤づくり」とは、地域の方々が、子どもたちのことを地域の子という意識を持ち、いろいろな視点で子どもの成長を見守ることによって、地域力が高まるという意味である。
現状と課題	(意見無し)
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関すること等)	・相談体制については、高齢者にも当てはまる問題である。「地域共生社会の実現」や「重層的支援体制の構築」といった言葉が先行し、何か相談事が生じた時に、どこに相談に行けばいいのかわからない状況もある。どんなことでも、相談に行っていきたいという意識づけを行っていくことが大切である。 ・相談窓口について、市民には伝わっていないと感じる。毎年広報を繰り返すなど、相談先がわからない人がいる前提で取り組むことが大切である。 ・支援が必要なお子さんに対して、地域の方は、どう対応したらよいか分からない部分もある。地域に向けて、分かりやすい説明や接し方の周知などを行っていけば、地域も動きやすい。 ・子ども会の活動が衰退して、地域力の低下を感じる。 ・参考資料の指標、利用率について、指標が上がっても市民の実感は異なる場合がある。その乖離を埋めるために、何をすることが大切である。

【施策名】 4 学校教育

項目		意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)		(意見無し)
施策の主な方向性	(1)主体的に学ぶ人の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せっかく市内に奈良先端大があるので、連携を進められたい。</li> <li>・保幼小連携は、今後より重要になる。全体としての連携だけでなく、きめ細かく個別対応を進めるためにも、情報共有できる仕組みがあると良い。</li> <li>・「学校生活等」という表現について、もう少し広い表現を検討されたい。</li> </ul>
	(2)主体的に学べる教育環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館は避難所にもなるので、防災関連部署と連携しエアコンの設置を検討されたい。</li> </ul>
市民や事業者ができることの主な取組のイメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人の保護者として、不登校のお子さんのサポートをしたいと考えるが、繊細な内容でもあり、どこまで踏み込んでいいのか、何ができるのか迷うことがある。</li> <li>・1項目めの「どの子どもに対しても」という表現は、少し強い印象を受ける。</li> </ul>
現状と課題		(意見無し)
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関する事等)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食における地元野菜の消費促進など、農林課とも連携し進められたい。</li> <li>・施策名について、「学校・教育」と並列した意味合いが市民に伝わるよう、施策の方向性で表現を検討されたい。</li> </ul>

【施策名】 5 高齢者支援・障がい者支援

項目		意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)		(意見無し)
施策の主な方向性	(1)持続可能な福祉・医療サービス提供体制の構築	・ACPやBCP等、専門的な言葉への注釈を検討されたい。
	(2)高齢者支援の充実	・認知症サポーター養成講座の受講者が活躍できる環境や情報を発信できる取組など、引き続き実施されたい。
	(3)障がい者支援の充実	・民間企業と連携し、障がい者が働きやすい環境整備を進められたい。
	(4)権利擁護の推進	(意見無し)
市民や事業者ができることの主な取組のイメージ		(意見無し)
現状と課題		(意見無し)
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関すること等)		(意見無し)

【施策名】 6 地域福祉

項目		意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)		(意見無し)
施策の主な方向性	(1)寄り添った支援体制の構築・拡充	・ヤングケアラーについて、家庭内のことで実態の把握が難しく、子ども自身も、日常生活の一部と考えている場合がある。
	(2)地域における支えあい・社会参加の促進	・地域共生社会推進全国サミットを契機として、様々な活動がつながるよう一体的に取り組む機運を醸成されたい。 ・既存の市民団体を緩くつなぐことが大切。行政だけが取組を進めるのではなく、それぞれの団体に担っていただけのことを振り分けることも大切である。 ・ボランティアスタッフも高齢化している。広報による活動の紹介など、支え手のモチベーションを上げる取組も検討されたい。 ・市の相談機関など、一般市民は把握していないことが多い。多くの人に見てもらえるような取組も検討されたい。
	(3)安心して暮らせる環境づくり	・「困難な状況にある」という表現が唐突感があるので、検討されたい。
市民や事業者ができることの主な取組のイメージ		(意見無し)
現状と課題		(意見無し)
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関すること等)		(意見無し)

【施策名】 7 健康づくり

項目		意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)		・高齢者に特化したイメージとなっていることから、健康への関心など全世代に共通する表現に変更されたい。
施策の主な方向性	(1)健康的な暮らしの実践促進	・若い世代の人たちは時間がなく、検診に行きづらいため工夫が必要。日程や場所の設定だけではなく、検診に行くことでポイントがもらえるなど、行く動機にづけになるようなこともいいのではないかと。 ・市民病院のイベントは、他の病院も巻き込めるのではないかと。こうしたイベントがあれば、病院に行きやすくなり、相談もしやすくなると思う。
	(2)いのちを守る医療提供体制の充実	(意見なし)
	(3)安定的な医療保険制度の運営	・ジェネリック薬品の普及については、様々な人がSNS等で発信している情報の影響があるのかもしれない。重複受診や薬剤の過多も問題である。
市民や事業者ができることの主な取組のイメージ		(意見なし)
現状と課題		・主な課題の3項目めについて、一般的な予防医療の観点から、疾病予防、再発予防、重症化予防の3つがセットとなる。重症化予防とは、病気になったり介護を受ける人が、それ以上重症化しないことをさすことから、この文章からすると「疾病予防」という文言がふさわしいのではないかと。
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関する事等)		(意見なし)

【施策名】 8 防災・減災・消防

項目		意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)		・大規模地震に限定されている表現になっていることから、他の災害や救急・火災も含まれるような表現となるよう検討されたい。
施策の主な方向性	(1)災害対策・危機管理体制の強化	・大規模地震などに関する内容を加え、公助の強化に関する記載が必要ではないか。 ・防災訓練について、4年に1回ではなく間隔を短く実施した方がよいのではないか。 ・SNSでの周知について、SNSを利用していない市民へのフォローが必要。地域でのフォローも考えられるが、市役所の担当課が連携しながら行うとよい。
	(2)火災予防・救急対応力の向上	(意見なし)
市民や事業者ができることの主な取組のイメージ		(意見なし)
現状と課題		(意見なし)
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関すること等)		・防災訓練の実施回数を令和9年までに増加させる指標は非常によい。訓練の質の向上も図られたい。 ・市民全体の防災意識を測る指標もあるとよいのではないか。 ・市民実感度調査の際も、総合計画の指標に照らして質問項目を工夫するとさらに良くなるのではないか。



【施策名】 9 産業・雇用就労(1)

項目		意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)		・それぞれが個別に見える印象であるため、前段部分を地域の経済循環が回るといったコンパクトな表現となるよう検討されたい。
施策の主な方向性	(1)市内経済の活性化と循環の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タイトルに「循環の促進」とあるが、内容に域内での経済循環に関する記載がないため、消費者が地域の商工業者支援のために消費行動を行うなど、もう少し表現を検討されたい。</li> <li>・雇用者を増やす取組を進めていくことは伝わるが、人口が減少していく中で経済を回していくことが市の継続につながるといった大きな目標が読み取れるような記載を検討されたい。</li> <li>・市民の生活を守るために、事業者支援に取り組んでいるという目的の方向性を間違えないよう記載されたい。</li> <li>・事業者への支援については、その事業の継続性を鑑みて行われたい。</li> </ul>
	(2)市内事業者の雇用・定着支援と多様な働き方の促進	(意見なし)
	(3)身近な観光価値が地域経済につながる観光振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒市は、従来型の観光資源は少なく限界があるが、ユニークな市民活動が多く、集客につながる新たな観光資源になり得るので、そういった観点が伝わる表現を検討されたい。</li> <li>・マイクロツーリズムだけでなく、様々な集客資源に関する内容が分かるような表現を検討されたい。</li> </ul>
市民や事業者ができることの主な取組のイメージ		(意見なし)
現状と課題		・現状と課題と施策の方向性の関連性について、分かりやすい表記となるよう検討されたい。
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関すること等)		・指標Ⅱの「起業・創業件数」について、数値の妥当性はあるか。

【施策名】 9 産業・雇用就労(2)

項目		意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)		(意見なし)
施策の主な方向性	(1)稼ぐ農業のための生産者支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容からタイトルの「稼ぐ」ということが読み取りにくいことから、もう少しビジネス的な要素を盛り込んだ内容を検討されたい。</li> <li>・「援農」という言葉があるが、農業をしたい人がレクリエーションで体験できる機会など、裾野を広げる取り組みを行うことで分母を増やすことができる。</li> <li>・ドローンを活用するなどのスマート農業について、使う人のノウハウと農家のノウハウは異なるため、つなぐ仕掛けを検討されたい。</li> </ul>
	(2)販売促進のための取組	(意見なし)
	(3)鳥獣被害への徹底した対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狩猟免許となると猟銃をイメージする人が多いと思うが、わなの免許もある。PRの内容について検討されたい。</li> </ul>
	(4)農業を切り口にしたまちづくり・コミュニティづくり	(意見なし)
市民や事業者ができることの主な取組のイメージ		(意見なし)
現状と課題		(意見なし)
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関すること等)		(意見なし)

【施策名】 10 生活環境

項目		意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)		・目指す状態については、例えば、安心・安全・快適なまちが実現しているというように、社会の状態を記載するよう検討されたい。
施策の主な方向性	(1)環境美化・公害対策の推進	(意見なし)
	(2)防犯・消費者保護対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つの共通した目的を果たすために、多様な主体のそれぞれの取組や活動に横ぐしをさし、つなぐことが重要である。例えば、小学生の下校時間に合わせて、高校生が部活動でランニングをしたり、地域の方がお家から出てきたり、といったこと。</li> <li>・社会経験の無い若年層に、消費者としての教育のみならず、薬物や交通マナー等、市民として生きていく術をトータルで教えるため、パッケージにして取り込むことができるのではないかと。もう少し広く記載できると横断的になり、展開も変わってくる。</li> </ul>
	(3)交通安全対策の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①と②の順番について、逆のほうが分かりやすい。まずは行政によるハード面の整備、その上で市民も頑張ることを記載するほうが良い。</li> <li>・①に交通事故多発箇所の分析、②に道路標示等の設置の記載があるが、分析結果が設置につながっているはずであるので、表現の工夫を検討されたい。</li> <li>・高齢ドライバーの増加について、事故も増えていると思う。急速に高齢化が進んでいる生駒市としては、高齢ドライバーへの対応も必要ではないのか、内容を検討されたい。</li> </ul>
市民や事業者ができることの主な取組のイメージ		(意見なし)
現状と課題		(意見なし)
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関すること等)		(意見なし)

【施策名】 11 脱炭素・循環型社会

項目	意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な主体との協働により環境にやさしいまちが実現できているといった表記とされたい。</li> <li>・「環境にやさしいまち」が抽象的なので、少し具体的に記載されたい。</li> </ul>
施策の主な方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再エネと省エネ、蓄エネの3つの要素が大切。特に省エネの意識づけがあると行動が変わってくる。ハードだけでなく市民意識へのソフトによる働きかけも大切である。</li> <li>・いこま市民パワーだけで100%賄うことはできないため、脱炭素の働きかけや企業の創エネへの補助など、他主体が参画、協力する内容が読み取れる内容とされたい。</li> <li>・タイトルが「住宅都市」となっているが、基本構想で脱ベッドタウンを掲げている。整合性の面から表現を検討されたい。</li> <li>・施策が循環型社会とあるが、この項目では循環型の要素が少なく、分かりづらいので、表現を検討されたい。</li> <li>・様々なものをつないで循環型社会を形成することが一つの柱である。まずは1つずつのコミュニティ単位で脱炭素し、横展開していくことで、市内全域が脱炭素・循環型社会になっていくストーリーで内容を検討されたい。</li> <li>・ニュータウンでの生活は、循環型の実践が弱く、消費が表に立っている。(3)に小項目を追加し、脱炭素・循環型社会の生活を増やしていくこと、自分のライフスタイルの中でいかに循環するか、みんなで考え、実践していくかといった表現を検討されたい。</li> </ul>
(1)住宅都市における脱炭素化の実現	
(2)環境負荷低減に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状はごみの減少がメインに見える。循環型社会のために取り組むという表現に変更されたい。</li> </ul>
(3)環境活動の支援と環境教育・学習の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実践やライフスタイルの転換などが分かる内容を追記されたい。誰に啓発していくかが大切で、地域に環境推進員を配置することも一つの方法ではないか。</li> <li>・環境意識の低い人への働きかけ、頑張って活動している人を応援する取り組みが必要。</li> <li>・周りの人を巻き込む、動かすスキルを学ぶ研修があっても良い。個人個人の興味に合わせた訴求の仕方が必要。</li> </ul>
市民や事業者ができることの主な取組のイメージ	(意見なし)
現状と課題	(意見なし)
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関すること等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・脱炭素と企業立地は相反する問題といえる。企業が増えると電気消費量とごみの量が増える。環境意識の高い企業を立地させるなどの施策により、矛盾するが意識づけと取組の中身で市のスタンスを見せていくことが必要である。</li> </ul>

【施策名】 12 まちの空間づくり

項目	意見内容	
令和9年度末にめざす状態(施策目標)	<p>・「空間づくりが進んでいる」はアウトプットになる。例えば、「快適で安全な空間づくりをすることによって出歩く人が増えている」はアウトカム指標となる。行政が頑張った成果として、どのような市民生活や社会像が実現できるかということ、目指す状態とされたい。</p>	
施策の主な方向性	(1)魅力あふれる都市拠点の形成	<p>・「まちなみ空間や景観の形成を図ります。」とあるが、4年後に実現してしまうイメージになっているので、「検討を進めます。」などの表現にとどめ、4年後にここまでするという内容とされたい。          ・「目指すまちの姿を関係者と共有し」と記載されているが、関係者の具体例について記載されたい。</p>
	(2)公園・緑環境・景観	<p>・タイトルが「公園、緑環境、景観」という実際にやっていることの横並びにみえてしまう。例えば、うるおい溢れるなど、この三つに共通する将来像がタイトルとなるような表現を検討されたい。          ・施設の老朽化を含め、将来的に公園が無いほうが良いといった議論にならないよう、様々な可能性を模索しながら、責任を持って公園を管理、運営していくことが表現できるよう内容を検討されたい。          ・施策名に「空間」があるが、「場所」という言葉が入っていない。公園緑地等の利活用で、身近な交流の場として公園を位置づけて、市民が積極的に公園を活用できるようにすると、市役所だけではなく市民へも意識が広がると思う。          ・公園に求められる機能が多様になり、多主体が関わるため、パークマネジメントという発想が必要になってくる。公園の整備計画も含めた初期の段階から、市民や事業者が関わりながら一緒に作っていくことを見据えた表記にされたい。          ・「緑の質の向上」について、「緑の質」とは何を示し、その質を向上するために何をすることが分かる表現を検討されたい。          ・公園、緑地以外の道路などでもプレイスメイキングが行われており、公共空間を全般的に捉えて、どういう形で集約できるかも含めて検討されたい。</p>
	(3)移動しやすいまちづくり	<p>・公共交通網だけではない多様な手段を組み合わせながら、市民の交通利便性を確保、向上するという内容に合わせ、タイトルを変更することで、もっと幅が広がると思うので検討されたい。          ・公共交通網とはこういうものだという説明をするなど、市民にとって分かりやすい表現を工夫されたい。          ・公共交通のあり方を考える場合は、まちのあり方とセットでないと達成できないため、徒歩や自転車などいろいろな移動手段も含めて考える必要がある。          ・住宅都市である生駒市は、バス利用がワンウェイにしかなくなっておらず、公共交通、特にバス事業の衰退に繋がっている。年数はかかるが、利用を促進するためには、それを促す土地利用を進めていくことも必要である。</p>
市民や事業者ができることの主な取組のイメージ	(意見なし)	
現状と課題		
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関すること等)	<p>・施策名「まちの空間づくり」については、施策の内容からハード面が主であることを表せるよう「街の空間づくり」とすることとする。          ・指標Ⅱの市民主体の公園利用件数について、何をもち市民主体の公園利用とカウントするのか、見えるようにされたい。</p>	

【施策名】 13 都市基盤

項目	意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>行政主体の目指す状態になっている。整備更新が進むことによって市民の生活や暮らし方がどうなるのか、アウトカムが見える表記を検討されたい。</li> </ul>
施策の主な方向性	(1)都市環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>用途地域の見直しについて、基本構想で脱ベッドタウンを目指していることをふまえ、職住一致や職住近接など生駒らしい表現の記載や、地域住民とまちづくりの方向性を議論した上で都市計画を見直していく、というような記載もあった方がよい。</li> <li>広がりすぎた市街地をどのようにコンパクトに持っていくかというところを、常に視野に入れておく必要がある。そのことを明記しておく方が、より方向性が共有できる。内容を検討されたい。</li> <li>住宅というハードをどう整備するかだけではなく、住生活を充実するというような記載がもう少しあってもいい。</li> <li>脱ベッドタウンを目指していく中で、住宅整備がどう位置付けられるのか、内容を充実されたい。</li> <li>昨今、駅から離れた場所での住宅流通のハードルは高くなっている。店舗兼住宅を可能にするなど、空き家を埋めていくための施策を盛り込むのがよいのではないかと。新しい雇用やビジネスが生まれる可能性もある。</li> <li>現在は家族の形も様々であるため、住宅供給のあり方も多様性を持たせることが必要である。</li> <li>賃貸住宅が少ないために、若年層が市外へ転出することについて、行政として動きづらい部分ではあると思うが、不動産事業者や地権者を含めて、若年層が住めるような住宅供給に取り組んでいただきたい。</li> <li>住環境をどうするかということだけではなく、生駒の魅力発信と住環境が連動していかないといけない。選んでもらえるようなまちの魅力をもっとPRすることも考えられたい。</li> <li>過去とは異なり、今はリノベーションでも適正な価格の住みやすい中古住宅を求める若年層が増えているため、ニーズを的確に受け止められたい。</li> </ul>
	(2)学研都市づくり <ul style="list-style-type: none"> <li>地権者自身が地域の将来像を考え、まちが完成した後も地権者自身でマネジメントすることを目指した準備組合の立ち上げだと思うので、その点を丁寧に記載した内容を検討されたい。</li> <li>第2工区は、高山地区全体をより良くしていくための一つの材料であり、高山地区全体の将来像を見据えた中での第2工区、そのための準備組合の立ち上げといったストーリーにさせていただくとかなり見え方が変わってくるので、表現を検討されたい。</li> </ul>
	(3)道路の整備・維持保全 <ul style="list-style-type: none"> <li>この項目は、各担当が別々に動くのではなく、連携してこそ意義があるということが分かる表現を検討されたい。</li> <li>ハード整備がメインだが、もう少しソフト面での運用も含めた表現も検討されたい。</li> </ul>
	(4)安定的な上下水道の供給・処理 <ul style="list-style-type: none"> <li>(意見なし)</li> </ul>
市民や事業者ができることの主な取組のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりを地域で議論し、それから行政と一緒に考えるというような、主体的に地域ごとにまちづくりを考える項目もあっていいと思う。</li> </ul>
現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>全国的な問題である空き家の放置は、生駒市では少ないと感じるので、その点を強調してもよい。</li> </ul>
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関すること等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>目指す状態や、暮らし方や社会の状況が評価できるアウトカム指標を検討されたい。</li> </ul>

【施策名】 I スマートシティ・DX

項目		意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)		(意見なし)
施策の主な方向性	(1)利便性の高い市民サービスの提供	(意見なし)
	(2)高度で効率的な行政事務の実現	(意見なし)
	(3)スマートシティの推進	・スマートシティのイメージが伝わりやすい、分かりやすい表現を検討されたい。
現状と課題		<p>・技術が導入されているにもかかわらず、使用方法などが分からないということが、DXを進めていくうえでの障害になっていると感じる。課題は、単に紙中心の業務スタイルの脱却ではなく、庁内のデジタル技術の運用の円滑化といったことを記述すべきではないか。</p> <p>・デジタルが便利という意識醸成が必要である。</p>
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関すること等)		—

【施策名】Ⅱ 市民協働・公民連携

項目		意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)		(意見なし)
施策の主な方向性	(1)参画と協働のさらなる推進	(意見なし)
	(2)公民連携の推進	(意見なし)
	(3)さらなる推進に向けた庁内連携の強化	・職員の意識が一番大切だと思う。
現状と課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・(1)に、教育機関等との記載があるが、現状や主な課題に記載が無い。記載の必要性について検討されたい。</li> <li>・現状について、3項目めの公民連携に関する事で、「公民連携の環境整備」とあるが、具体的な取組を記載できるのであれば、例示でもいいので記載されたい。</li> <li>・主な課題について、誰に向けた課題なのかを検討し明確に記載されたい。</li> <li>・主な課題の、3項目めと5項目めは、内容が重複していることから、まとめて記載してはどうか。</li> </ul>
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関する事等)		-



【施策名】 Ⅲ 広報広聴・シティプロモーション

項目	意見内容	
令和9年度末にめざす状態(施策目標)	<p>・評価のことを考えると「意欲が増えている。」と書くと評価しづらいのではないかと。「行動する人が増えている」とすれば、いろいろな形でカウントできる。再度検討されたい。</p>	
施策の主な方向性	<p>(1)情報発信による開かれた市政運営</p>	<p>・生駒駅前、住む利便性と住環境はよいが、若い人にとっては、何か物足りなさがある。駅前という身近なところがブランド化されることで、生駒のイメージが一番大きく変わると思うので、このプロモーションはすごく期待している。          ・最後の文末が、「まちづくりへの積極的な参加を促します」となっているが、市民協働の目的に見える。例えば、「市政や地域への理解と関心を高め、市民等によるまちづくりへの積極的な参加を進めるために、魅力ある市政情報や地域情報を発信共有します。」としたほうが広報広聴の役割となり、市民協働との書き分けができると思うので検討されたい。</p>
	<p>(2)広聴活動の充実</p>	<p>・市役所以外でも、ちょっと気になったことが聞ける広聴活動を増やしていく、という文言があってもいいのではないかと。市民と接している職員は、声を聞くチャンスがある。そういう職員を増やし、広聴活動を充実させるということも重要である。</p>
	<p>(3)「暮らす価値があるまち」としての都市ブランド構築</p>	<p>・都市ブランド構築において、環境モデル都市、SDGs未来都市として、脱炭素先行地域を取得したところは全国から注目されており、これは生駒ならではの素晴らしいブランドだと思う。脱炭素先行地域に認可されての5年間は、これに注力していくべきだと思う。ぜひ強調して市民に訴えて欲しい。          ・生駒を一言で表すキーワードやキャッチフレーズが、まだ見つかっていない。生駒を表わす一つのキャッチフレーズがあれば、よりブランド力、発信力が強くなっていく。検討されたい。</p>
	<p>(4)市域への来訪者誘引</p>	<p>・生駒は従来型の観光資源で誘客するというのは弱い。その代わりに、市民活動も誘客の手段ではないかと思う。生駒ならではの誘客装置や資源をアピールしてもいいと思った。生駒市役所の仕事も誘客に繋がるといい。生駒市の職員になりたい、ちょっと覗いてみようかといった人たちや、生駒市職員として住居も移してくるなど、そういういろいろなものが誘客装置として使えると思うので、様々な生駒ならではの誘客が進むことを期待している。</p>
現状と課題	(意見なし)	
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関すること等)	-	

【施策名】 IV 行政経営

項目		意見内容
令和9年度末にめざす状態(施策目標)		(意見なし)
施策の主な方向性	(1)持続可能な財政の運営	(意見なし)
	(2)ファシリティマネジメントの推進	・公共施設で老朽化が進んでいると聞いている。民間との連携による取組を進め、より良い施設となるように取り組まれない。
	(3)情報公開による開かれた市政の推進	(意見なし)
	(4)行政課題に対応できる組織・職場環境づくり	・組織の心理的安全性を高めるという課題を掲げ、職員が気持ちよく働ける職場づくりに向けて取り組んでいこうとすることが感じられる。様々な取組を進められたい。
現状と課題		・2つ目の項目で、「関係者との調整」との記載があるが、様々な意味合いがあり、利用者との調整と庁内関係者との調整の二つに大きく分かれると思う。関係者の調整とまとめてしまうと課題がぼやけてしまうことから、どのような対象者がいるかを明確に分かるよう表現を検討されたい。
その他(施策の進捗状況を測る代表的な指標・各論全体に関すること等)		—